

なかま

木枯らしや 角ある鹿の 歩む先
厚布団 追手消えたる 寝覚めかな

プリンストン日本語学校新聞



平成26年度 No.26号

平成26年11月16日

文責 長尾重範 nagao@pcjls.org

行事予定表

- 11月16日 **表現学習発表会** 14:35~16:20 Science102
TVJapan 撮影協力
- 11月23日 表彰式(表現学習発表会入賞者対象)
- 11月23日 学芸会打合せ (30日リハーサル)
- ※11月27・28日、事務所はお休みです (Thanksgiving Day)
- 11月30日 学習発表会打合せ (12月7日リハーサル)
- 12月7日 理事会
- 12月14日 学芸会 (14:00~15:15)
学習発表会 (15:30~17:40)
- 1月4日 11日 書き初め

風邪を引いて薬を飲むよりは
風邪を引かないように、未然に
予防の方が数倍得です。
得度な**運動**で、風邪を引かない
体をつくりましょう。**運動**こそ
最善の風邪予防です。



カーネギー湖の朝

「宮沢賢治」ってどんな人？ (19)

芝崎雅行

ただ一人の親友 (4)

実は、最近実家に帰って、昔読んだ賢治の本を数冊、書簡集も手元に持って帰り、読み返してみたんだ。賢治の保阪寡内への手紙から (1920年5月) ちよっと引用すると、

岩手山を想い出します。岩手さんよ かがやく霧山岳の柏原、いただきの白い空に湧き散った火花よ。(中略) 銀河が南の雲のきれまから一寸見え沼森は微光の底に眠っている。(中略) 夜があけて黄色な真空のつめたい空にはおほとかげの雲中生代の灰色の動物が沢山うかび、やあもうやめます。さようなら。(新修宮沢賢治全集第16巻、PP.156-157)

これは、明らかに、賢治と寡内の共有体験、1917年7月15日の未明から明け方のことを思い出しているのだけれど、「やあもうやめます」って、賢治は突然話を止めてしまう。真夜中、寝入る直前まで手紙を書いていたのかな。やめないで、どういうことがあったのか、第三者にも解かるように説明してくれたら、よかったのね。賢治が自然を相手にして、幻想(幻視)能力を持っていたことは、後で十分、検討するとして、この夜の体験がその能力を発揮してのことだったことは明らかだろうと僕は思う。一方の保阪寡内は、そうした能力を持っていたのだろうか。たぶん、持っていなかったでしょう。寡内は賢治に導かれて、確かにその夜は同様の感動を享受し、その感動を元にして、「我等と衆生と無上道を成ぜん」と誓い合ったわけだけど、自分が先に立った体験ではないから、月日が経ち、先導者と離れてしまえば、その共有感動を持続して保持することはできないよね。この点、寡内に「密結合」を求めた賢治には、無理があった。それじゃあ、賢治の周りに、幻想能力自体を共有できる人がいたかと云うと、少なくとも、一人はいた、らしい。というのは、妹トシは、兄と同様に、そういうことを視れる能力があったという話があるんだよね。

『銀河鉄道の夜』、ジョバンニは銀河に囲まれ夢のような体験をする。その体験から、現実に戻り、物語の最後になって、あることが解かる。ジョバンニに対して常に意地悪をするザネリという少年が、河で溺れそうになった。それを助けるため飛び込んだカンパネルラは、自己犠牲の結果、実は死んでいた。ということは、ジョバンニは「臨死体験」から現実に戻ったことになる。本当は、死んだカンパネルラの後を追いかけて、どこまでも、一緒について行きたかったのだけだ。

そこまで思い当たると、カンパネルラ=保阪寡内という図式では、この辺はどうもピンと来ない。この部分、やっぱり、妹トシの死から見て行くのが、分かりやすい。

せかいの動物の鳴き方

三年 湯原美穂

ワンワン、ウーフウーフ、グワウグワウ

日本語、英語、スペイン語
犬のほえ方たちがうおもしろい

ケロケロ、ラビラビ、グワグワ

日本語、英語、中国語
かえるの鳴き方たちがうおもしろい

ニャーニャー、ミャーオミャーオ、ミャウミャウ

日本語、英語、ヒンデュー語
ねこの鳴き方たちがうおもしろい

モーモー、ムームー、ウメウメ

日本語、英語、かん国語
牛の鳴き方たちがうおもしろい

コケコッコ、コッカアードルドウ、ココロコ

日本語、英語、イタリア語
にわ鳥の鳴き方たちがうおもしろい

スペイン人、中国人、インド人、かん国人、イタリア人、アメリカ人

いろいろな国のお友だち

わたしの学校おもしろい

海外子女教育振興財団
平成二十六年年度海外子女文芸作品
コンクール詩部門特選に入賞されました。

おめでどういいます。